

県民協働の取り組み自己チェックシート（振り返り前）

基本項目

記入者氏名：森林整備課 鶴田 耕治 0952-25-7136

株式会社 環ヴィトーム 佐賀設計室 稲垣 英樹 0952-31-1607

事業名： 緑の県土づくりワークショップ

事業内容： 平成 18 年度に策定した「緑の県土づくり方針」に基づき、県民協働による緑づくりを促進するため、地域住民や地元企業、緑づくりに関心のある人・団体、行政などの自主的な参加のもと、参加者の意見を反映した対象地域の将来に渡る緑化計画を作成するとともに、参加者による緑づくりの実践を行う。

行政担当課：森林整備課

CSO名： 株式会社 環ヴィトーム 佐賀設計室

協働はいつ開始されましたか。

- 1 . 予算案作成前から 2 . 予算決定後、企画の段階から 3 . 実施段階から
4 . その他 ()

協働の呼びかけは、どちらからですか。

- 1 . CSO 2 . 行政 3 . その他 ()

協働の形態は何ですか。

- 1 . 協働型委託 2 . 共催 3 . 補助 4 . 後援 5 . 事業協力

県民協働のコーディネーターは同席しましたか。

- 1 . 同席した 2 . 同席していない (理由)

振り返り（評価）項目

行政

CSO

計画段階

1 . 事業の目的を明確にし、共有しましたか。	はい	はい
2 . 成果目標を明確にし、共有しましたか。	はい	はい
3 . 県民のニーズについて話しあい、反映されていますか。	はい	はい
4 . 協働の理由は明確ですか。	はい	はい
5 . ふさわしい協働の形態が検討されましたか。	はい	はい
6 . 協働する相手を選ぶ手法は適切でしたか。 当初から決まっている場合： 当初から決まっていない場合：	はい	はい
7 . 相互を理解し、対等な関係を築けましたか。	はい	はい
8 . この事業についての事業計画、収支計画をともに作りましたか。	はい	はい
9 . 協働する期間をともに考えましたか。	はい	はい
10 . 役割分担を明確にしましたか。	はい	はい

計画段階で記すべきコメントがあればここに記入してください。

・過去の実績をもとに進め、特に事前のヒアリングや現地調査を行い、地元の意向を確認しつつ行った。

実施段階

1 . 役割分担をともに共有し、果たしましたか。	はい	はい
2 . 進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	はい	はい
3 . 課題の発生には、お互い連絡しあい、素早く対応しましたか。	はい	はい
4 . 事業の修正は、お互いに十分議論し、柔軟に対応しましたか。	はい	はい
5 . 事業内容の報告をつくり、公開しましたか。	はい	はい

実施段階で記すべきコメントがあればここに記入してください。

・住民参加によるワークショップや実践活動の開催を事前に広報するために自治会長さんに依頼するなど、役割分担と細かな協議によって効率よく、また効果的に終わることができた。

成果の把握		
1. 成果目標は達成できたか、お互いに話し合いましたか。	はい	はい
2. 成果目標は達成できましたか。	はい	はい
成果の把握において、記すべきコメントがあればここに記入してください。 ・参加者からの意見や要望に対し、事業の説明責任をすべて答える姿勢で対処し、住民の印象は良好であった。		
課題の抽出		
1. 今後の課題をお互いに話し合いましたか。	はい	はい
課題の抽出において、記すべきコメントがあればここに記入してください。 ・地域によってコミュニティの規模（世帯数）や住民のまとまりが異なっており、毎回の準備や次回ワークショップの報告等を行い、作業の漏れがない成果を得られた。		
改善案の作成		
1. 改善案をお互い話し合い、作成しましたか。 <改善案内容のポイント>	いいえ	いいえ
2. 今後の官民の役割分担を明確にしましたか。	はい	はい
改善案の作成において、記すべきコメントがあればここに記入してください。		
総合評価		
自由意見 ・平坦地の緑化活動業務では、実績も重ね、毎年の業務に厚みが増し、また不要な作業を除くなど、臨機応変に作業を進めることができた。 ・積極的な地域ではさらに将来の活動について興味を抱く参加者が増加している。ワークショップの手法を用いた緑化活動（その他事業も含め）は県民協働の効果が高い手法と考える。		

振り返り（評価）の各項目に「はい」、「いいえ」、「わからない」のいずれかを記入してください。